

空港対策特別委員会

航空機の運航がコロナ禍前の水準に回復

(6/5)

空港対策特別委員会が開催され、3件の報告事項について、町担当課より説明を受けました。

1件目は航空機騒音測定結果についてで、町内の6測定局(一畝田、間倉、喜多、千田、船越、牛尾)において、令和6年1月～3月のデータから、航空機の運航回復に伴い、騒音がコロナ禍前の水準に戻りつつある傾向が示されました。



利用者が増加した芝山鉄道駐車場

2件目は有限会社ティ・ティ・エスの経営・利用状況などについてで、令和6年度の純利益は1,128万4,854円、町への配当金は60万円。利用台数は前年比2.5%増の64万4,002台、利用金額は6.9%増の11億1,864万9,076円と、いずれも増加しました。

3件目は芝山鉄道利用者駐車場の利用状況で、利用台数は前年比12.7%増の2万9,994台、売上も12.5%増の575万9,480円と報告されました。その他として5月27日に開催された滑走路新増設推進協議会の概要、5月29日に公表されたNAA連結決算についての報告がありました。

(空港対策特別委員会委員長 萩原宏紀)

文教厚生常任委員会

教育の充実にむけて

(6/6)

文教厚生常任委員会が開催され、こども園園長・事務長、各小・中学校校長、多古高校教務主任にご出席いただき、「学校運営の状況などにかかる意見交換」を行いました。

こども園では、園児の発達段階に応じたきめ細やかな対応が重要と認識のもと、こども園での様子を各家庭としっかりと共有するとともに、相談体制の充実、子育て支援センターとして機能が充実しているとの説明がありました。

各小・中学校の運営方針や現状については、学校・家庭・地域が連携を密にしながら、それぞれの役割を意識し、情報化社会の中で、自分の考えをしっかりと持ち、基本的な生活規範を身に着け、心身ともに健やかにたくましく生きていけるための「生きる力」を育むために、日々ご尽力されている現状をうかがうことができた一方で、読書や家庭学習時間の減少などといった課題があることも認識できました。

多古高校の運営方針として、確かな学力の育成を大前提としつつ、将来的に地域に残り貢献する人材の育成を意識した教育活動を進めていくとの説明がありました。また、朝のあいさつ運動により、生徒たちが落ち着いた雰囲気で学校生活を送れるようになっているとの説明もありました。

町からは、「あじさい学級」の状況と効果について説明がありました。今後、教育委員会とも情報共有を図りながら、諸課題などに対応していくことで委員会としての共通認識を図りました。

(文教厚生常任委員会委員長 橋本孝之)



こども園・各小学校からの説明に耳を傾ける委員

審議結果〈5月臨時会〉

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退席…退

(議長は採決に加わりません)

議案番号	件名と主な内容 (件名は一部省略しています)	議決結果	議長												
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
承認第1号	税条例の一部改正の専決処分の承認…個人町民税の [※] 特定親族特別控除の創設や軽自動車税の税率区分の改正、町たばこ税における加熱式煙草にかかる課税標準の特例整備などの改正に係る専決処分について承認を求めるもの。	承認 賛13・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第2号	国民健康保険税条例の一部改正の専決処分の承認…軽減判定所得の算定に係る基準額を、5割軽減については29万5千円から30万5千円に、2割軽減については54万5千円から56万円に引き上げる改正の専決処分について承認を求めるもの。	承認 賛13・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※特定親族特別控除…19～23歳の親族を扶養する納税者の税負担を調整する目的で創設された制度。扶養親族の給与収入が150万円以内の場合は、63万円の控除。150万円～188万円の場合は段階的に控除額は減額される。

議会広報特別委員会

～委員会レポート～

親しまれる紙面作りを目指して

(7/4)

ホテルポートプラザちばで開催された、町村議会広報研究会に議長および議会広報特別委員が参加しました。講師は議会広報サポーターの芳野政明氏で、講演テーマは「議会の見える化と住民との信頼関係を築く」でした。

講演内容によると、議会広報の最も重要なポイントは、何よりも住民が読みたくなる紙面作りです。具体的には写真をふんだんに使い、ページを開いた瞬間に内容が目に飛び込んでくると、見出しは簡潔に15文字以内に収めること、そして、より多くの住民の方々に登場していただき、自由に意見を述べていただくことなどです。今後の編集に大いに参考になりました。

また、多古町の議会だよりに対してのクリニックでは、議会審議結果の報告内容は全国のモデルとなる素晴らしい編集内容であるとの評価をいただきました。

そして、「聞いてみました町の声」として住民の皆さんに登場していただいた公共交通についてのページも良い評価をしていただき、編集委員として意を強くし、今後のバージョンアップにつながると感じました。

(議会広報特別委員会委員 菅澤博隆)



広報活動の質向上に向けて、熱心に聞き入る議員



他自治体の先進事例を解説する講師